

# みんなのちから

4月1日(月) ~ 4月5日(金)

IN 兵庫県立南但馬自然学校

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	仲間作りゲーム 研修①「オリエンテーション」	研修②「リーダーとは？」
2日目	研修③「ホットサンド」 研修④「野外炊飯」	研修⑤「工作」	研修⑥「キャンプファイヤー」
3日目	研修⑦「棒焼きパン」 最終確認	まるかじりメンバー合流 レクリエーション	屋内レクリエーション
4日目	棒焼きパン作り 野外炊飯	野外炊飯 グループタイム	キャンプファイヤー
5日目	ホットサンド作り 清掃、思い出工作	施設を出発 解散式	

一日目： 全体集合場所の尼崎駅から電車を乗り継ぎ、最寄り駅である竹田駅の休憩所で昼食を済ませた後、施設へ向けて歩きました。ハイキングでは、まだまだあまり話した事がないメンバーとペアを組み、途中でペアを交代しながら進みました。片方が色々な質問を投げかけるペア、「何を話せばいいんだろう。」と沈黙が続くペア、それぞれの不安な気持ちが表情に表れていました。後半はペア制度を設けず、みんなで進みました。強張っていた表情が緩み、気の合うメンバーと談笑しておられました。施設到着後、ここまでの道中の振り返り、話しを広げる事の難しさやリアクションをとる事の大事さを共有しました。その後、全員で仲間作りゲームとファイアで踊るダンスの練習を行い、施設オリエンテーションをしました。昨年もこのキャンプに参加された三名のメンバーが前に立ち、シーツの種類や布団の準備と片付けの方法を丁寧に伝えておられました。夕食の頃には、メンバー同士で話が弾み、仲良くなったメンバーと行動を共にする姿が見られました。夜はリーダーが普段意識している事を学び、自分のなりたいリーダー像から目標を考えました。理想のリーダーに近づく為に明日からの研修も頑張ろう！



二日目： 朝、カーテンを開けると外は雪景色でした。「4月なのに!？」と驚きながらも朝食作りの準備を整え、出来る限りの防寒対策をして野外キッチンへ向かいました。経験者が多い為、自分達で作り方や温め方のコツを伝え合い、手際よくホットサンドが完成しました。屋内に戻り、ホットサンドを食べた後、『野外炊飯』の研修を行いました。安全面や役割分担について話し合い、2つのグループに分かれてカレーを作りました。どのような説明が必要か、苦戦しそうな作業はどれか、実際に作業を進めながらイメージを膨らませ、全ての作業完了後、部屋でグループごとの振り返りと情報交換をしました。お米の水の量、薪の組み方、具材の大きさなど、頭に入れなければいけない事が多く、真剣な表情でノートにまとめておられました。休憩後、最終日の思い出工作で使用するノコギリの実習を行い、夕食と入浴を済ませました。夜はキャンプファイヤーがキャンプの中でどのような意味を持つか、レクリエーションを進める上で意識する事などを学び、最後に『リーダーネーム』を決定しました。一人一人の着眼点がユニークで素敵なリーダーネームとなりました。明日からリーダーデビューです！自分のリーダーネームを沢山アピールしていこう！



三日目： 起床後、身支度を済ませ、生活棟の清掃を行いました。朝食作りに向かう前のミーティングで担当グループのペアとメンバーが発表され、皆楽しみと不安が入り混じった何とも言えない表情でした。朝食は棒焼きパン作りの実習を行いました。パンを巻いた棒を片手に持ち、焼き上がるまでの時間を利用して、ペアごとにキャンプファイヤーのレクリエーションを考えておられました。そして、パンを食べ終わると早速レクリエーションのセリフを考えるペアもあり、意気込みが伝わってきました。その後、午後からのプログラムを全体で確認し、リーダーの名札を首から下げ、生活棟を出発しました。春まるかじりツアーのメンバーが到着するまでは、キャンプファイヤーや自己紹介の練習を行い、食堂で昼食をいただきました。昼食の途中にまるかじりメンバーが到着し、その姿が見えると、一気に緊張が高まった様子でした。ソワソワしながら昼食を済ませ、一人ずつ意気込みを発表し気合を入れた後、ついにリーダーとしてメンバーの前に立ちました。緊張がピークに達し、それに加えグループのメンバーの元気さに圧倒され、レクリエーション、整列、移動などの場面では動き回るメンバーを追いかけるのが精一杯な様子でした。夕食までのグループタイムで少しずつ会話が弾み、夕食や夕食後のレクリエーション時には戸惑う表情の中にも笑顔が増えました。入浴後、ジュニアリーダーだけでのミーティングを行いました。「はあ〜、疲れた〜。」と本音が漏れ、リーダーとしてグループをまとめる難しさを痛感したようでした。初日にできた事、足りなかった事をグループの大人リーダーとしっかり振り返り、明日の目標を決めよう！



四日目： ジュニアリーダーの皆は起床時間より少し早く起き、自身の準備を整え、メンバーを起こしました。この日は朝食作り、昼食作りとプログラムが続く為、服装や持ち物の確認が朝からグループごとに行われていました。そして、野外キッチンへ移動し、棒焼きパン作りをしました。メンバーの前で見本を見せながら説明した後、皆で作業を進めました。根気が必要な焼く時間は、学校や習い事の話をしたり、「場所を交代する？」、「皆で味見してみる？」と提案したり、グループ全体を意識して声を掛ける事ができていました。その後の野外炊飯では刃物や火を扱う為、より一層注意を払い、同じ系のメンバーの側でサポートする姿が見られました。なかなか思うように作業が進まない場面や、作業に飽きてしまうメンバーが出る場面もありましたが、その都度ペアで相談しながら判断しておられ、「何とかしよう！」という強い気持ちを感じられました。美味しく完食し、片付けを終えた後は、少し休息タイムを挟みました。横になってしばらく体を休め、その後夜のキャンプファイヤーに向けてリハーサルをしました。声や動作の大きさ、時間配分などの最終調整を行い、夕食からメンバーの皆と合流しました。日が暮れ、キャンプファイヤーが幕を開けると、楽しみにしていたメンバーの皆は大盛り上がりでした。それぞれの順番で堂々とレクリエーションを披露し、最後の全体ダンスでは円の中心でとても弾けた笑顔が見られました。最終夜は振り返りと三日目の確認の後、リーダー全員で談笑し、最終日に向けて気合を入れました。



五日目： 最終日はシーツや布団の片付け、部屋の清掃などやる事が沢山ありましたが、「次は布団を畳むよ!」、「掃除機やりたい人〜!」など、良く声が出ていました。朝食のホットサンド作りも説明担当、サポート担当とペアで役割を分け、スムーズに進行しておられました。朝食を済ませ、生活棟の清掃を行い、最後のプログラムである思い出工作の『首飾り作り』が始まりました。メンバーがノコギリを上手く使えるように、枝を支えながらアドバイスを伝え、見守る姿は、リーダーそのものでした。切った後のやすりで磨く作業やペイントはメンバーの皆と一緒にいき、グループで自然と会話が生まれ楽しそうでした。作業が一段落した所で手を止め、昼食をいただきました。最後の食事の時間は、春まるかじりの初日の夕食とは比べ物にならないくらい和やかな雰囲気、どのグループも話が尽きない様子でした。昼食後は作品を完成させ、グループ内で交換し、最後に写真を撮りました。そして、施設や職員さんに別れを告げ、尼崎駅へ帰ってきました。メンバーを笑顔で見送り、解散式を行いました。短いようで長かった五日間。一緒に悩み、本音をぶつけ合い、力を合わせたペアやジュニアリーダーのメンバーと泣き笑いながら健闘を称え合い、記念撮影をして解散しました。また、一緒にリーダーができる時を楽しみにしているよ! まったねえ〜!!



## <キャンプ総括>

今回の『みんなのちから』は、様々なキャンプや定例活動を経験されたメンバーや、昨年度『春まるかじりツアー』に参加しておられたメンバーなど、キャンプについて一から伝えるというよりは、これまでの経験を活かしてリーダーについて考えました。そして、多くの場面でジュニアリーダー経験者が活動を引っ張っておられました。研修期間では率先して動く事で次の行動を示し、全体の気を引き締めてくれました。初参加メンバーは研修期間からジュニアリーダー期間での成長が著しく、非常に驚きました。また、今回の五日間で11名が11通りの成功と失敗を経験されました。同じ出来事でも捉え方が違い、その捉え方の違いに悩むメンバーもおられました。あの子には出来る事が自分には出来ないと感じるメンバーもおられました。“同じ事”や“成功”はプラスに捉えられ、“違う事”や“失敗”はマイナスに捉えられがちですが、違うからこそ新しい考えやものが生まれ、失敗した事で学ぶ事も沢山あると思います。違う事も面白い、失敗を恐れないと挑戦できる気持ちや、同じ事や成功を喜び合える環境をこれからも生み出していきたいです。毎年、ジュニアリーダーの頑張りが多いメンバーや大人リーダーの心を動かし、キャンプの醍醐味を思い出させてくれます。本当に五日間、全員が頑張りました。沢山自分を褒めて、自信へと繋げてください。また、リーダーネームで呼べる日を心待ちにしております。(生本 ひろみ)